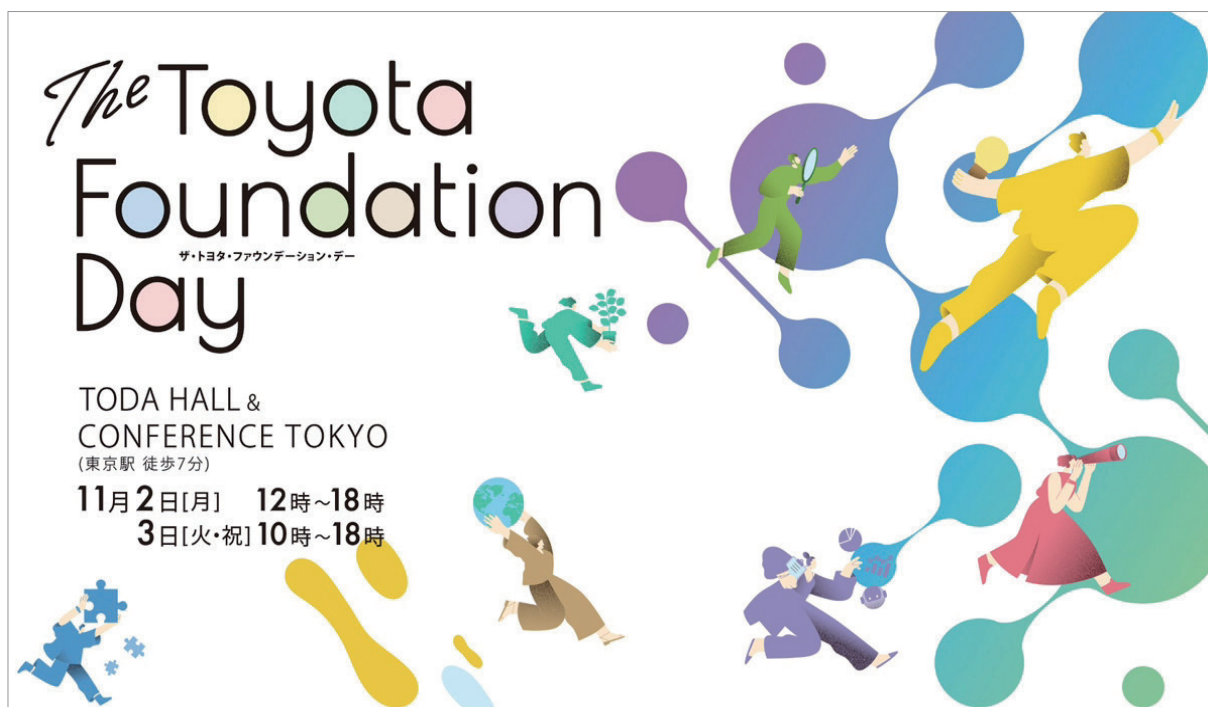


社会課題に向き合う46のプロジェクトが一堂に
分野や立場を横断し、新たな視点をひらく。トヨタ財団初の共創型エキシビション

「The Toyota Foundation Day」開催

期間：2026年11月2日(月)、11月3日(火・祝)

会場：TODA HALL & CONFERENCE TOKYO



公益財団法人トヨタ財団(所在地：東京都新宿区、理事長：羽田正)は、2026年11月2日(月)、3日(火・祝)の2日間、TODA HALL & CONFERENCE TOKYOにて、共創型エキシビション「The Toyota Foundation Day」を開催します。

本イベントには、トヨタ財団の複数の助成プログラムから、46のプロジェクトが参加します。会場では、各プロジェクトの取り組みや研究を紹介する展示ブースをはじめ、シンポジウム、ワークショップ、キオスクの4つのコンテンツを展開します。助成プログラムを横断し、多様な分野のプロジェクトを広く紹介する一般公開イベントは、トヨタ財団として初の試みです。

問う。気づく。考える。新しい視点が、未来を動かす。

トヨタ財団は1974年の設立以来、学術的な研究と社会の現場に根ざした実践を両輪として、社会課題に向き合う研究者や実践者を支援してきました。その支援は、助成金の提供にとどまりません。財団のプログラムオフィサーが助成先との対話や現場訪問を重ねながら取り組みに伴走し、また、助成先同士の交流機会を設けるなど、プロジェクトの発展を応援してきました。

これまで交流や成果共有は、主に助成プログラムごとに行われてきましたが、社会課題が複雑化し、アプローチや活動の形が多様化するなか、異なる分野や立場から生まれた知見やアイデアを横断させることで、新たな視点や可能性が生まれるのではないかと考えました。こうした背景から、「問う。気づく。考える。新しい視点が、未来を動かす。」というメッセージのもと、出展者と来場者が交わり、対話する共創の場をつくります。

第1回のキーワードは「〇〇視点」

イベントを特徴づけるキーワード「〇〇視点」の「〇〇」には、多様なプロジェクトが提示する、既存の枠にとらわれない多角的な視点やハッとさせられるような独創的な視点など、さまざまな視点が当てはまります。そうした、自分にはなかった視点との出会いをきっかけに、出展者や来場者それぞれが、自分なりの視点を見だし、重ねてほしいという思いを込めています。

さまざまな知と実践に出会い、ともに問い、考える2日間を、ぜひ会場でご体感ください。

※46プロジェクトのうち、42プロジェクトが展示ブースに出展し、その一部はワークショップも実施します。そのほか、2プロジェクトがワークショップのみ実施し、2プロジェクトがシンポジウムのみに参加します。

特徴

・トヨタ財団が支援する46のプロジェクトを通じて、多様な研究と実践を紹介

社会課題に向き合う取り組みや研究の背景や現在地を、展示、対話、体験などを通じて紹介します。

・分野や立場を横断し、知見やアイデアが交わる

一つの見方では捉えきれない社会課題を、異なる立場や角度から見つめ直し、新たな出会いと機会をつくります。

・出展者と来場者がともに問い、考える共創の場の創出

分野や立場を越えた出会いを通じて、新たな連携や、それぞれの研究・活動の次の一步につながる場を目指します。

会場で体験できる4つのコンテンツ

1.活動や研究の背景と現在地を伝える | 展示ブース

トヨタ財団と多種多様な46の助成プロジェクトが一堂に集います。それぞれがどのような問いを持ち、どのような現場で、誰と関わりながら研究や活動を重ねてきたのか。その背景にある社会課題への問題意識と、これまでの歩み、現在の取り組みを紹介します。パネル展示に加え、映像やプロダクトなど、各プロジェクトの特徴を生かした多様な展示を予定しています。



※イメージ

2.知を深め、問いを共有する | シンポジウム

11月3日(火・祝)は、「みんなと考えるメンタルヘルス」を共通テーマに、午前・午後の2つのプログラムを開催します。トップアスリートや専門家をはじめ、多様な立場の方々を招いてメンタルヘルスについて考えます。子どもと保護者も参加できる体験型のプログラムから、心を整えることやメンタルヘルスについて多角的に捉えるトークまで、誰もが自分に引き寄せて考えられる場をつくります。

参加無料・事前申込制。



※イメージ

3.参加し、対話し、体感する | ワークショップ

出展者や参加者との対話を通じて、新たな気づきを得られる参加型ワークショップを実施します。異なる考えや経験に触れ、新しいつながりや協働のきっかけが生まれる場を目指します。

参加無料・事前申込制。

- ワークショップの一例**
- ・ 集合知から共創知へ。共創ワークショップを体験！—2,000人が火星に移住するとしたら、どんな街をつくる？—
 - ・ 映画『はぎま』上映イベント
 - ・ ゲーミングで考える持続可能な将来ビジョン
 - ・ 自分のエッセイの最初の一行を書いてみよう
 - ・ 動物を通して知る、いきもの視点、わたしたち視点



※イメージ

4.助成プロジェクトから生まれたものと出会う | キオスク

キオスクは、助成プロジェクトから生まれた書籍や商品などを販売するブースです。会場で実際に手に取り、購入することを通じて、その背景にある社会課題や、研究・活動に込められた考えに触れることができます。



※イメージ

シンポジウム「みんなと考えるメンタルヘルス」

トヨタ財団では、これまで「みんなと考えるメンタルヘルス」をテーマに、第一弾『「アスリート」という生き方を事例に』(2023年2月)、第二弾『「こころとことば展」』(2024年11月)を実施し、多くの反響をいただきました。その声を受け、第三弾ではメンタルヘルスをさらに多面的に捉え、こどもから大人まで、みんなが『こころ』について考えたいと思います。参加無料。申込受付は、9月上旬より公式ウェブサイトで開始します。

※登壇者は2026年8月28日時点の情報です。今後、さらに多彩な登壇者を迎える予定です。 ※諸般の事情により、内容が変更となる場合がございます。

(1) 2026年11月3日(火・祝)10:30～12:30

タイトル：こころを、形にしてみよう

10代の子ども・若者と保護者を対象に、アート、スポーツ、メンタルヘルスを組み合わせた参加型プログラムを実施します。作品づくりや対話を通して、自分のこころの状態に気づき、表現することの大切さを学び、困ったときに相談し合える、互いに支え合う関係や場を育みます。

参加対象：10歳頃～18歳頃(高校生)／小学生は保護者同伴



小塩靖崇／東京大学大学院
総合文化研究科 スポーツ
先端科学連携研究機構
(UTSSI)特任講師



吉谷吾郎／コピーライター・
クリエイティブディレクター



川村慎／一般社団法人
JapanPDP 代表理事、
慶應義塾大学体育會
蹴球部FWコーチ



木村真光／日本画家、武蔵野
美術大学非常勤講師

(2) 2026年11月3日(火・祝)14:00～17:15

タイトル：心は変えなくていいートップアスリートのレジリエンスに学ぶ「自分との付き合い方」ー

「心」とは何か。心理的レジリエンスとは何か。田中ウルヴェ京氏が代表を務める研究プロジェクトはそんな問いから、国内外の研究を調べ、9名のトップアスリート(※下記参照)を対象に質的調査を行った。そこから見えてきたのは、逆境に負けない「強い心」ではなく、揺れながら自分を知り、捉え方や行動を調整し、人と関わりながら適応していく姿だった。では、先の見えない時代を生きる私たちに必要なレジリエンスとは何だろうか。トップアスリート、精神科医、禅僧、スポーツ心理学者、それぞれの視点から考える。

〈協力いただいたトップアスリート〉

荒木絵里香(バレーボール)、石川佳純(卓球)、河合純一(パラ競泳)、香西宏昭(車いすバスケット)、琴欧州(相撲・元大関)、杉山愛(テニス)、為末大(陸上ハードル)、廣瀬俊朗(ラグビー)、吉田知那美(カーリング)※50音順・敬称略



田中ウルヴェ京
スポーツ心理学者(博士)、
五輪メダリスト
(アーティスティックスイミング)



有森裕子
元プロマラソン選手
五輪メダリスト
(女子マラソン)



大野裕／精神科医
国立研究開発法人 国立精神・
神経医療研究センター認知
行動療法センター顧問



藤田一照
曹洞宗僧侶
曹洞宗国際センター前所長

「The Toyota Foundation Day」の出展内容(テーマ)

アジアに根ざした循環の共探求／ARUNでつながる社会起業家／いきもの視点、わたし視点／医者のおのこころスイッチ／AIでつなぐ地域の助け合い／送出国から見た日本への移住労働／「協力のテクノロジー」開発普及／高校生のSNS生活史に学ぶ／声掛けロボットを地域づくりに／国境を越え高める災害対応力／昆虫フードテックの未来を考える／在野保存ー歴史的仕物の保存活用／自治を育む、キャンプの可能性／支援を超え共に生きるまち倉敷へ／市民主体型DX「共創エコシステム」／障々障継承／行く・知る・働くに応える総合ポータル／生活習慣の成績をつけましょ！／双方向につながる東北とアチェ／対話で価値を探す「ふりかえり評価」／多言語でつながる医療DX／DE&Iとコミュニケーションデザイン／地域まるごと研究所／血のつながりを越えた家族についての研究／データで未来に繋ぐ地域栽培文化／都市と地域をゆるやかにかきまぜる／日韓ダブルケア支援プロジェクト／病気が健康か、だけじゃない！／分子ロボティクスと未来の社会／My Right to Writeー地域を超えたつながり／摩擦を地域のつながりに変える！／まちで次世代を育てる体制づくり／マンガで紡ぐこどもの未来／「みまもりあう児玉」まちづくり／未来のリーダーを育てるNPO教育／MINNAがつなぐ外国人支援／みんなの外国人オンライン診療／「やさしい日本語」で安心な医療を／病いや障害の語り展ー読む、見る、話す、考える／余白であそぶ、これからの自治。／Learning Innovation Program／領域横断的なELSI人材の育成／ロボットと創る、多様な職場 ※50音順

開催概要

The Toyota Foundation Day

日 時： 2026年11月2日（月）12:00 ～ 18:00

2026年11月3日（火・祝）10:00 ～ 18:00

会 場： TODA HALL & CONFERENCE TOKYO

住 所： 東京都中央区京橋1丁目7-1 TODA BUILDING 4階

入場料： 無料

U R L： <https://tfday.toyotafound.or.jp/>

主 催： 公益財団法人トヨタ財団

後 援： J-WAVE (81.3FM)

<お問い合わせ>

The Toyota Foundation Day 実行委員会

Email： tfpp@toyotafound.or.jp

公益財団法人トヨタ財団について

トヨタ財団は、1974年にトヨタ自動車によって設立された助成財団です。「人間のより一層の幸せを目指し、世界的視野に立ち、しかも長期的かつ幅広く社会活動に寄与する」という理念のもと、設立当初から国際的な活動、市民活動、研究への助成を展開してきました。社会の現場で課題に向き合う人々の活動や研究者たちを支え、助成先との対話を重ねながら伴走することを大切にしてきた点も、トヨタ財団の特徴です。2024年の創立50周年までに、累計8,400件、総額約206億円の助成を行ってきました。

時代とともに社会課題や助成のあり方が変化するなかでも、その中心にいるのは、課題に向き合う人々です。トヨタ財団は、研究者や実践者をともに未来をつくるパートナーとして支えながら、次の50年、100年、そしてその先に向けて、変化を恐れず、人々を信じ、より良い未来につながる助成活動に取り組んでいきます。

公式サイト：<https://www.toyotafound.or.jp/>



トヨタ財団公式サイト
QRコード

主催



公益財団法人トヨタ財団

所在地 | 〒163-0437 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル37階
電 話 | 03-3344-1701 FAX 03-3342-6911

後援

J-WAVE

イベント詳細はWEBサイトをご覧ください →
<https://tfday.toyotafound.or.jp>

